

事業報告書

令和 6 年度

社会福祉法人 豊寿福社会
軽費老人ホーム 豊寿苑

目 次

1、法 人 と 施 設

- (1) 施設の概要および沿革
- (2) 施設運営の基本方針
- (3) 役員名簿
- (4) 寄附金について

2、処 遇 に つ い て

- (1) 豊寿苑職員に求められる適性と行動基準
- (2) 会議の状況
- (3) 利用者に関する記録
- (4) 行事について
- (5) 総括

3、利用者について

- (1) 利用者の収入状況について
- (2) 入所前の住所について
- (3) 利用者の在苑期間について
- (4) 利用者の年齢について
- (5) 利用者の縁故者状況
- (6) 利用者の入退苑

4、医 務 に つ い て

- (1) 在苑者の入院者数
- (2) 入院者の状況
- (3) 病名別人数

5、給 食 に つ い て

- (1) 一日の栄養基準量について
- (2) 給食会議
- (3) 行事食
- (4) 献立表抜粋

6、収益事業 太陽光発電について

- (1) 年間発電量

1、法 人 と 施 設

(1) 施設の概要

設 置	社会福祉法人 豊寿福祉会
施設の名称	軽費老人ホームA型 豊寿苑
入所者定員	50名
位 置	長野市篠ノ井岡田 3241 番地
土 地	所 有 地 2, 617. 95m ² 長 野 市 より 借 地 961. 24m ² 合 計 3, 579. 19m ²
建 物	鉄 筋 コンクリート造 二 階 建 延 床 面 積 1, 923. 62m ² 平成16年7月30日 増改築工事竣工

(2) 沿 革

昭和54年 9月26日	厚生省に社会福祉法人の設立認可の申請を行う。
昭和55年 7月 1日	厚生省より社会福祉法人 豊寿福祉会の設立認可を受ける。
昭和55年 7月16日	長野地方法務局に法人の設立を行う。 初代理事長として中居四郎氏が就任する。
昭和55年10月15日	財団法人日本船舶振興会より軽費老人ホーム豊寿苑の建設資金として 151,700,000 円の補助金の交付を受ける。
昭和55年11月11日	軽費老人ホーム 豊寿苑の建設に着手する。 設 計 (株) ナカイ設計事務所 主 体 工 事 (株) 守谷商会 設 備 工 事 日新工業 (株) 設 備 工 事 丸十電気工事 (株) 設 備 工 事 伊東産業 (株) 長野支店
昭和56年 5月31日	軽費老人ホーム豊寿苑の建設を完了する。
昭和56年 6月 1日	長野県より軽費老人ホーム豊寿苑運営開始の許可を受ける。 初代苑長として宮下豊次氏が就任する。
昭和56年10月29日	社会福祉事業振興会より軽費老人ホーム豊寿苑の建設資金として 80,000,000 円の借入を行う。
昭和57年 3月24日	二代目苑長として中居 光氏が就任する。
昭和58年 8月15日	財団法人日本船舶振興会の会長 笹川良一氏が来苑し入居者と親しく懇談する。
昭和61年10月13日	二代目理事長として深沢 博氏が就任する。
平成 3年 5月24日	創立 10 周年記念式典を挙げる。
平成 5年11月 1日	豊寿苑増改築工事を行う。(54. 82m ² 増築)
平成 8年 7月17日	三代目理事長として瀧澤益貴氏が就任する。

平成 9年 4月 6日	三代目苑長として瀧澤昌直氏が就任する。
平成11年10月 4日	四代目理事長として齋藤政雄氏が就任する。
平成12年10月 1日	四代目苑長として風間静也氏が就任する。
平成15年12月25日	豊寿苑増改築工事の指名競争入札が行なわれる。 滝澤建設(株)に落札決定
平成15年12月26日	豊寿苑増改築工事、滝澤建設(株)と92,400,000円(消費税含む)にて契約がなされる。
平成16年 4月15日	独立行政法人福祉医療機構より豊寿苑増改築工事建築資金として31,100,000円借入を行う。
平成16年 8月26日	日本財団より豊寿苑増改築工事助成金として68,200,000円交付を受ける。
平成16年 9月30日	豊寿苑増改築工事竣工式が行われる。
平成17年11月28日	日本財団より福祉車両助成金交付決定。
平成19年 3月17日	豊寿福祉会と段ノ原区並びに本組区と、それぞれ災害協定を締結する。
平成20年 5月12日	五代目苑長として佐藤壽憲氏が就任する。
平成21年 2月12日	六代目苑長として渡辺 悟氏が就任する。
平成22年 5月21日	郵便事業(株)より年賀寄付金分配決定。 (暖房用配管修繕工事)
平成22年 7月19日	五代目理事長として松坂 賢氏が就任する。
平成23年 1月28日	不在者投票施設指定許可を受ける。
平成23年 3月30日	社会福祉法人長野県共同募金会より助成金交付決定。 (自動火災報知設備・非常用放送設備の改修工事)
平成23年 4月 1日	財団法人JKAより福祉車両(車いす対応)助成金交付内定。
平成24年 7月20日	六代目理事長として小笠原 安雄氏が就任する。
平成24年 9月	30周年記念誌を発刊する。
平成25年 4月 5日	苑長代行として小笠原 安雄氏が就任する。
平成25年 5月	屋根塗装・廊下床張替工事实施。
平成25年 9月30日	長野県より介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金をうけ スプリンクラー設備を設置する。
平成26年 2月	長野市より建築物耐震改修促進事業補助金をうけ耐震診断を実施。
平成26年 2月20日	太陽光発電システム設備設置工事完了。発電開始。
平成26年 4月17日	エアコン及び高圧受電設備設置工事完了。
平成27年 3月20日	係争事件は長野地方裁判の判決が下り、当法人の勝訴となる も2週間の控訴期間があり結審は相手方の出方次第となる。
平成27年 4月 9日	2週間の控訴期間が過ぎ相手方より控訴がないため、当法人 の勝訴で結審となる。
平成27年 6月30日	玄関屋根防水改修・照明器具取替工事完了。

平成27年12月10日 2階屋根防水改修工事完了。

平成28年 1月 5日 七代目苑長として西 助雄氏が就任する。

平成28年 5月 浄化槽配管修繕工事完了。

平成28年 7月 給湯用ボイラの入替工事。

平成28年12月 7日 廊下エアコン設置工事完了。

平成29年 8月 1日 八代目苑長として東海林 貴晃氏が就任する。

平成29年11月 1日 受水槽ボルトキャップ取付工事完了。

平成29年12月 8日 長野市介護保険関連サービス基盤整備補助金をうけ
防犯設備設置工事完了する。

平成30年12月21日 外壁塗装及び非常階段修繕工事完了する。

令和 元年 6月19日 七代目理事長として高橋 宏氏が就任する。

令和 2年 3月30日 社会福祉法人長野県共同募金会より助成金交付決定。
(風呂用ボイラーオイルタンク更新事業)

令和 2年 8月 5日 喫煙室改修工事完了する。

令和 2年11月25日 社会福祉法人長野県共同募金会助成金をうけ
風呂用ボイラーオイルタンク更新事業完了する。

令和 3年 3月27日 新型コロナウイルス濃厚接触者として入居者2名認定される。
PCR 検査の結果陰性。 経過観察として4月12日まで居室待
機で対応する。

令和 3年 5月 厨房冷凍冷蔵庫入替完了。

令和 3年 7月14日 談話室・寮母室エアコン入替工事完了。

令和 4年 8月22日 施設内一部照明器具を LED 照明器具へ入替完了。

令和 4年 8月 厨房スチームコンベクション入替完了。

令和 5年 3月 1日 水野医院から今井クリニック丸山内科へ嘱託医師の変更。

令和 5年 3月31日 北側居室屋上防水修理工事完了。

令和 5年 5月29日 施設内廊下照明器具を LED 照明器具へ入替完了。

令和 6年 7月 8日 八代目理事長として望月義寿氏が就任する。

令和 6年10月30日 長野県より社会福祉施設等エネルギーコスト削減促進事業補
助金を受け、LED 照明器具及び業務用エアコン入替工事完
了。全館 LED 照明化される。

令和6年度事業計画

理念

豊寿苑は地域社会の支持を受けて、高齢者が地域で安心して生活を送ることができる拠点施設となることを使命とし、

1. 高齢者の生活と人権を擁護するため、自己点検を強化し、公平・公正な開かれた施設運営に努めます。
2. 利用者一人ひとりのニーズと意思を尊重し、可能性の実現と生活の質の向上に努めます。
3. 常に誠意をもって質の高いサービスが提供できるよう、研修・研究に励み、専門性の向上に努めます。
4. 地域社会の一員としての自覚を持ち、保健・医療等関連分野との連携を強化し、地域福祉の向上に努めます。
5. 信頼性の高い効果的・効率的経営の観点から、安定的な財務基盤の確立と適切な財務管理・会計処理を行います。

基本方針

1. 権利擁護の徹底
サービス評価基準を元に自己点検を繰り返し実施し、継続的な権利擁護に関する取り組みを実践する。
2. 低所得者への配慮
介護保険サービス、障害福祉サービス等、負担軽減に関する取り組みを積極的に支援し、良質且つ安心・安全なサービスの提供を実践する。
3. 人材の育成
外部研修の成果が職場全体に活かされる仕組みを構築する。
4. 地域における福祉の推進
学校教育への協力、ボランティアの受け入れ等を積極的に行うと共に、地域包括ケアシステムを有効的に利用し、住民主体による福祉実践に向けての取り組みを行う。
5. コスト意識の醸成
職員全体のコスト意識を醸成するための取り組みを行う。

重点実施事項

◎ 全般（施設長）

- ・ 建物のメンテナンスに留意し耐用年数の延伸を図る。
助成金の獲得に努力する（共同募金・年賀郵便・日本財団・役所等）
- ・ 安定した運営の為に入居者の確保に努める。
- ・ 退居理由を精査し退居者の減少に努める。
- ・ リスクマネジメント（危機管理）の徹底。考えられるリスクに対して話し合い対応できるようにしていく。
- ・ 感染症の最新の情報を常に確認し蔓延防止に努める。
- ・ 電気・水道などのコスト削減に対する取り組みの実施。

◎ 生活部門

- ・ 入居者の確保及び施設移動を的確にするため、長野市・包括支援センター・病院・ケアマネジャー等へ入居者募集や情報提供等で共有する。
- ・ 介護保険サービス利用者の情報（デイ及び苑での生活状態）をケアマネジャーと共有し、苑での生活を出来る限り維持できるようにする。
- ・ コロナウイルス感染症については感染対策を継続しながら、状況次第で再開できる行事を増やしていく。

◎ 介護部門

- ・ サービス計画書に基づいた個別支援の実践及び、必要に応じた再アセスメントを行う。
- ・ 日々の観察と傾聴に努め、安心安全な生活への援助をしていく。
- ・ 変化していく感染症への対応に合わせ、引き続き入居者の予防意識向上に努める。

◎ 給食部門

- ・ 給食懇談会等入居者の声を参考にして献立、調理法に反映させ希望に添うように配慮する。
- ・ 厨房と連携を取り原因細菌及びウイルスの食中毒の予防（食中毒菌をつけない・増やさない・やっつける）に努める。
- ・ 献立に行事食や季節の物、五感を刺激した物を取り入れ食事の時間が楽しみになるように努めていく。

◎ 医務部門

- ・ 感染症（インフルエンザ・ノロウイルス・コロナウイルスなど）平常時から予防対策を実施。
- ・ 感染対策委員会、研修の実施。
- ・ 感染症発生時には適切な対応をして蔓延の防止に努める。
- ・ 利用者の健康状態（身体的・精神的）を把握し、状態の変化を注意深く観察し異常の早期発見に努める。

◎ 事務部門

- ・ 毎月ルーチンワークとしている給与計算や月末支払いにおいてミスを1件もなくす。
- ・ 利用料が滞納なく回収できるように、ご本人や保証人に依頼をし安定した運営ができるようにする。

(3) 役員名簿

令和7年3月31日現在

(理事)

理事長	望月	義寿
理事	磯貝	幸男
理事	千野	邦興
理事	岡澤	一隆

理事	渡辺	一成
理事	高野	達夫
理事	滝澤	清之
理事	東海林	貴晃

計 8名

(監事)

監事	藤澤	善雄
----	----	----

監事	福井	一浩
----	----	----

計 2名

(評議員)

評議員	山浦	弘
評議員	吉岡	角男
評議員	柳澤	和美
評議員	滝澤	常人
評議員	東方	みゆき

評議員	桑原	正道
評議員	太田	信
評議員	宮尾	孝雄
評議員	石井	一喜

計 9名

(4) 寄附金について 令和6年度 寄附金 1件 23,000円

2. 処 遇

(1) 苑職員に求められる大切な心

1. ハイという素直な心
2. スミマセンという反省の心
3. オカゲサマという謙虚な心
4. アリガトウという感謝の心
5. サセテクダサイという奉仕の心

(2) 会 議

会 議 名	開 催 数	参 加 者	目 的
職員会議	毎月 1 回	全 職 員	職員間の業務連絡調整 行事实施の打ち合わせ
ケース会議	毎月 1 回	全 職 員	処遇方法についての検討
給食懇談会	隔月 1 回	利用者 (1 回 8 名) 栄養士	利用者より意見、要望 を聞き現場に反映させる
茶 話 会	毎月 1 回	全 職 員 利 用 者	利用者の意見、要望の 収集 苑からのお願い事項

(3) 利用者に関する記録

※ 数値は令和6年度の年間数値を示す

面会者	延人数	724人	外泊者	延人数	15人
通院バス	運行回数	43回	買い物バス	運行回数	23回
	延利用者数	108人		延利用者数	194人
銀行バス	運行回数	6回			
	延利用者数	9人			

ビデオクラブ	開催回数	10回	音楽クラブ	開催回数	6回
	延参加人数	55人		延参加人数	32人
ちぎり絵クラブ	開催回数	10回	健康体操 クラブ	開催回数	31回
	延参加人数	40人		延参加人数	366人
マレットゴルフ クラブ	開催回数	4回	おりがみ クラブ	開催回数	9回
	延参加人数	16人		延参加人数	56人
書道クラブ	開催回数	8回			
	延参加人数	76人			

(4)行事について

令和6年度行事実施表

月	日	行 事 名	参加人数	月	日	行 事 名	参加人数
4	1 1	お花見昼食	3 8		1 6	文化祭（作品展）	2 0
	1 2	さくら湯	2 9	1 0	1 7	遠足（小布施北斎館）	9
	2 6	共和保育園交流会	1 2		3 0	映画会（銀河鉄道の夜）	1 0
5	9	火災訓練	3 9		1 3	共和保育園交流会	1 1
	2 3	遠足（善光寺）	1 2	1 1	2 1	室内運動会	2 7
6	4	しょうぶ湯	3 0		1 8	ゆず湯	2 8
				1 2			
7	4	室内運動会	3 1	7年 1	9	地震訓練	3 5
	1 1	遠足（恐竜博物館と信 州新町道の駅）	8		2 3	新春お楽しみ会	2 9
8				2	6	節分豆まき	3 3
					2 0	室内運動会	2 8
9	1 8	お彼岸の法要	1 9	3	5	水害訓練	3 9
	1 9	敬老食事コース（やま 厨房）	3 6		2 1	映画会（ディアファミリー）	1 2

令和6年度行事実施表（防災訓練関係）

実 施 日	訓 練 内 容
5・9	通報、初期消火、避難誘導訓練
7・3	夜間訓練. 宿直者、非常通報装置を作動させ、職員苑に集合
9・25	篠ノ井消防署・共和地区消防団・篠ノ井西交番との総合訓練
11・7	通報、初期消火、避難誘導訓練
1・9	地震訓練
3・5	水害訓練.2階への垂直避難誘導訓練

（5）総 括

①7月下旬から8月にかけてコロナウイルス感染症のクラスターが苑内で発生し、入苑者15名、職員3名が感染した。その影響で入苑者2名が退苑となってしまった。

基本的な感染対策は継続して行い、感染が拡大した際は早期に対策を講じていきたい。

3. 利 用 者

(1)利用者の収入状況

種 類		男 性	女 性	個 別 計	合 計
厚生年金	老 齢 年 金	0	2	2	35人 (78%)
	老齢基礎年金	7	22	29	
	通算老齢年金	0	0	0	
	障 害 年 金	0	1	1	
	遺 族 年 金	0	3	3	
国民年金	老 齢 年 金	0	1	1	8人 (18%)
	通算老齢年金	0	0	0	
	老齢基礎年金	2	4	6	
	障 害 年 金	2	0	2	
共済組合	退 職 年 金	0	0	0	2人 (4%)
	遺 族 年 金	1	1	2	
恩 給	普 通 恩 給	0	0	0	0人 (0%)
	普通扶助料	0	0	0	

※ 2 箇所以上の年金受給者は受給額の多いほうで表示してあります。

(2)入所前の住所について

地 区 名	現在入所中の利用者
長野市	37人 (82%)
北信地区	7人 (16%)
東信地区	0人 (0%)
中信地区	1人 (2%)
南信地区	0人 (0%)
他府県	0人 (0%)
合 計	45人 (100%)

(3)利用者の在苑期間について

在苑期間	人数(割合)	在苑期間	人数(割合)
1年未満	8人(18%)	7～ 8年	2人(4%)
1～2年	6人(14%)	8～ 9年	2人(4%)
2～3年	7人(16%)	9～10年	1人(2%)
3～4年	4人(9%)	1 0～11年	0人(0%)
4～5年	3人(7%)	11年 以上	5人(11%)
5～6年	5人(11%)	合 計	45人(100%)
6～7年	2人(4%)		

(4)利用者の年齢について

	男 性	女 性	合 計
69歳以下	0人	2人	2人
70～74歳	3人	1人	4人
75～79歳	1人	4人	5人
80～84歳	4人	9人	13人
85～89歳	2人	5人	7人
90歳以上	1人	13人	14人
合 計	11人	34人	45人

平均年齢 全体84歳 男性80歳 女性85歳

(5)利用者の縁故者状況

配偶者と子のいる者	3人	子のいる者	28人
配偶者のいる者	0人	親族のいない者	0人

(6)本年度の入退苑者

区 分	家 庭	1人暮らし	医療機関	他施設	その他	計
入苑者数	3人	2人	2人	1人	0人	8人
退苑者数	0人	0人	4人	4人	0人	8人
備 考				特養1 養護1 サ高住 1 ショートステイ1		

退苑理由	身体機能低下	認知症	家庭復帰	死 亡	その他
人 数	3人	0人	0人	1人	4人

利用者の年齢について

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
69歳以下	3	4	2	4	2
70～74歳	2	2	2	3	4
75～79歳	11	9	8	6	5
80～84歳	7	9	8	8	13
85～89歳	7	5	10	9	7
90歳以上	12	12	15	14	14
合 計	42	41	45	44	45
全体平均	83歳	83歳	85歳	83歳	84歳
男性平均	76歳	75歳	78歳	78歳	80歳
女性平均	85歳	85歳	90歳	85歳	85歳
男性数	11	10	12	12	11
女性数	31	31	33	32	34

入退苑者数

入 苑

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
家 庭	2	3	3	3	3
1人暮らし	3	5	1	1	2
医療機関	2		6	1	2
他施設	1	1		3	1
その他					
合 計	8	9	10	8	8

退 苑

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
家 庭				1	
1人暮らし	2	1			
医療機関	1	4	2	5	4
他施設	7	4	3	4	4
その他	1		1		
合 計	11	9	6	10	8

4.医 務

1 総 括

1)感染症については、新型コロナウイルスが全国的に流行し感染予防対策を見直し今まで以上にしっかり取り組みに力を入れています。
今後も感染対策委員会・研修を実施し感染症に対して意識を高めしっかり取り組んでいきたい。

2)高齢者の特徴を知り(加齢による影響など)状態の変化、急変の前兆に気付く力を身につけていきたい。

3)精神面が安定し生活していけるように、メンタルケアを大切にしていきたい。

2 在 苑 者 の 入 院 者 数

年 度	男 性	女 性	合 計	帰苑
平成29年度	3	15	18	11
平成30年度	6	14	20	12
平成31年度	4	4	8	1
令和2年度	1	7	8	5
令和3年度	4	5	9	3
令和4年度	3	5	8	5
令和5年度	9	9	18	10
令和6年度	7	12	19	13

4 病 名 人 数			
病名	男性	女性	合計
脳卒中	1	3	4
脳梗塞後遺症	2	2	4
腎臓病	0	4	4
肝機能障害	1	1	2
大腸癌術後	0	2	2
骨粗鬆症	0	9	9
逆流性食道炎	1	4	5
腰部脊柱管狭窄症	2	3	5
末梢神経障害	0	2	2
不眠症	1	7	8
腰痛症	0	1	1
認知症	3	4	7
腰椎圧迫骨	1	4	5
膝関節症	0	3	3
乳癌	1	2	3
白内障	0	7	7
緑内障	0	1	1
水疱性類天疱瘡	1	0	1
便秘症	1	4	5
高次脳機能障害	0	1	1
高血圧症	9	21	30
高脂血症	2	14	16
心疾患	2	5	7
肺疾患	2	4	6
糖尿病	6	4	10
神経・精神疾患	1	6	7

5 給食

総 括

食事が楽しみの一つとなるよう常に工夫し、かつ各個人の嗜好を十分に考慮した献立を作成し、年齢に合わせた調理を行うように心がけた給食を実施した。

(1) 一日の食事摂取基準について

本年度における、利用者一人の一日に摂取して頂きたい目標量及び実績は下記のとおりである。

目標	エネルギー	1 5 2 2 kcal	実績	1 5 1 7 kcal
	蛋白質	5 2 . 6 g ～		5 7 g
	脂肪	3 3 . 0 g ～		4 2 . 7 g

(2) 給食会議

隔月に、利用者数名と栄養士が会議を開き、(すべての利用者が年間一回の参加) 給食関係の問題について意見の交換及び献立評価を行った。この会議において利用者の嗜好調査を行いちらし寿司、天ぷら、おやき、カレー、牛丼等を取り入れた。

(3) 行事食

変化の乏しい日常生活の中で、季節感を取り入れ花を飾ったり、テイクアウトを頼んだり、普段と器を変えての会食は、利用者の楽しみの一つである。

(1) 献立表抜粋 (3月28日～3月31日)

	朝食	昼食	夕食
28 日	麦入ご飯 キャベツ味噌汁 もやし炒め おかか昆布 なめたけ 大根おろし	麦入ご飯 たまごニラ味噌汁 メカジキトマトソテー ひじき蓮根煮 小松菜ごま和え	麦入ご飯 なめこ味噌汁 銀ダラ粕漬 豚肉かき油炒め ほうれん草のり和え 牛乳又はヤクルト
29 日	麦入ご飯 玉葱人参味噌汁 チンゲン菜炒め物 にしん甘露煮 野沢菜漬け 味のり	炊込みチャーハン ワンタンスープ 星型コロッケ フルーツヨーグルト和え	麦入ご飯 じゃがいも味噌汁 豆腐のステーキ肉味噌 大根豚肉金平 モロヘイヤ和え物
30 日	麦入ご飯 えのき人参味噌汁 レタス炒め 金平ごぼう さば缶 味のり 大根おろし	焼きそば すいとん汁 ポテト豆サラダ プリン	麦入ご飯 いんげん味噌汁 鶏肉コーラ煮 糸昆布煮 カリフラワー酢の物
31 日	麦入ご飯 大根味噌汁 キャベツ炒め しょうゆ豆 ミニオムレツ 大根おろし	麦入りご飯汁 あさり味噌汁 あじ蒲焼 小松菜と厚揚げ煮浸し	麦入ご飯 白菜味噌汁 鮭のホイル包み焼 人参白滝の炒め物 ほうれん草おかか和え 牛乳又はヤクルト

収益事業 太陽光発電発電量

単位 (kWh)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
4月	4,429	3,896	3,300	3,275
5月	3,124	3,371	3,824	4,092
6月	3,573	4,041	3,549	3,400
7月	3,837	3,420	3,482	3,123
8月	3,010	2,943	4,246	3,580
9月	3,143	3,089	2,661	2,875
10月	2,641	2,072	2,775	2,387
11月	2,250	1,928	2,059	1,625
12月	1,176	1,722	1,632	1,560
1月	816	1,373	1,242	1,757
2月	1,804	2,206	2,127	1,823
3月	3,554	3,676	2,697	2,787
合計	33,357	33,737	33,594	32,284